

## 「道路植栽帯管理システム」社会実験を実施します

道守長崎会議では、国土交通省道路局が公募する社会実験に申請し、今年度「道路植栽帯管理システム」社会実験を実施することになりました。

道路植栽帯の管理については、地域の皆さん（住民・ボランティア団体・企業など）により、住んでいるところ（道）をきれいにしていこうという取り組みが10年程前から全国的に始められています。その仕組みはボランティア・サポート・プログラムと呼び、右図のように、地域の実施団体・道路管理者・協力者（市町村）の3者間で協定を結び、地域の皆さんが花植え・清掃などを行うものです。協定では、道路管理者が花苗や清掃用具などを支給し、協力者（市町村）が収集ゴミの回収・処理などを行っています。

しかし近年、道路予算が減少していくなかで、VSP（ボランティア・サポート・プログラム）の維持が困難な状況となっています。

これまで行政が支援してきた花苗の提供やボランティア団体保険加入などが支援困難な状況となり、道路植栽帯を維持管理するボランティア団体が減少しています。

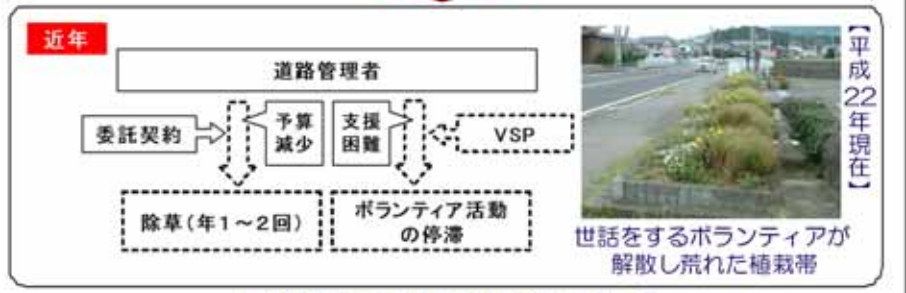
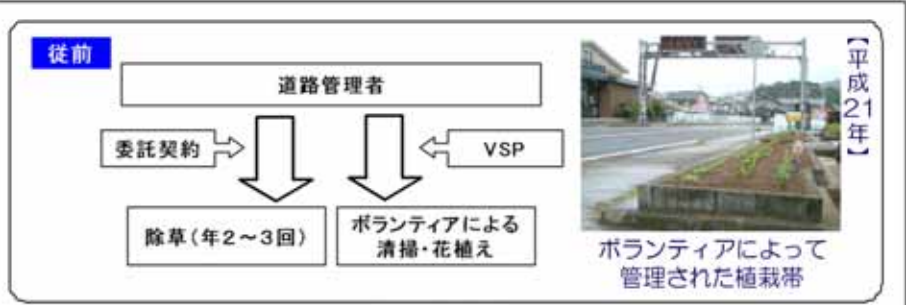
このように、道路予算の削減やボランティアサポート経費削減により、近年道路植栽帯が荒廃してきており、景観阻害を引き起こしている事例もあります。

このような問題を解決するために、道守長崎会議では社会実験の申請を行い、九州で唯一採択されました。本社会実験で実施を予定している「道路植栽帯管理システム」とは、地域のボランティアが道路植栽帯の管理を継続的にを行うことを目的に、資金提供して頂けるスポンサーを募集し、スポンサー名を表示した標識板を植栽帯に設置するというものです。このようにして、地域のボランティア活動を支援するしくみになっています。

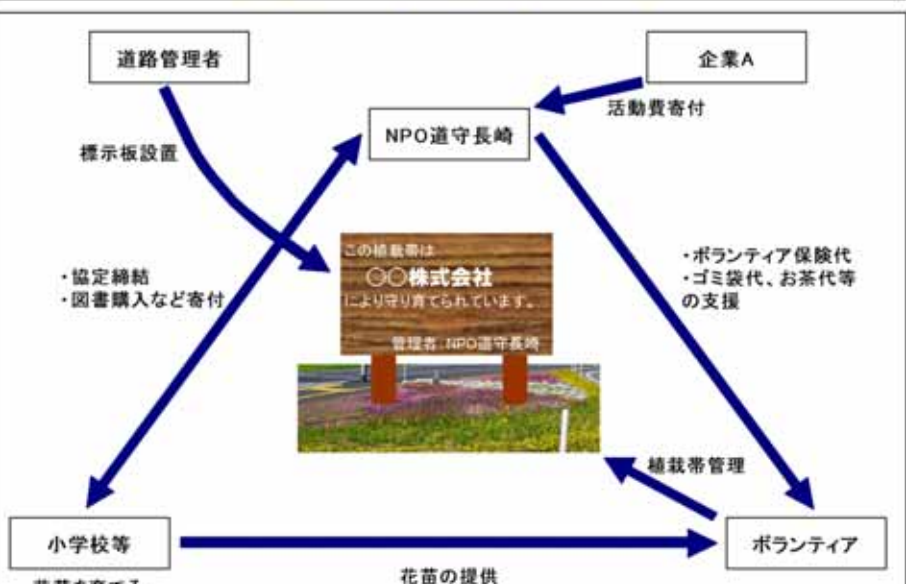
9月6日には、道守長崎会議の世話人やNPO道守長崎のメンバー、社会実験の実施を予定している長崎市・佐世保市・大村市・雲仙市の担当者が参加し、第1回社会実験検討会を開催しました。「道路植栽帯管理システム」は、全国でも初の試みということで非常に注目度の高い取り組みです。今回の社会実験でこの仕組みがシステム化可能かどうか調査し、ボランティアさんたちが活動しやすい環境を構築していきたいと考えています。



【ボランティア・サポート・プログラムのしくみ】



【地域による植栽帯管理の状況】



【道路植栽帯管理システムのしくみ】

# 佐世保中央 I Cで樹木の生育調査が行われました

平成22年9月11日（土）、佐世保中央インターチェンジで樹木の生育調査が実施され、市民ボランティア団体「100年の森実行委員会」や国土交通省、長崎県、佐世保市から約70名が参加しました。

今年3月に開通した西九州自動車道 佐世保中央インターチェンジでは、「周囲の森との調和」と「地域に親しまれる道路づくり」を目的に、昨年8月と今年2月に市民の手によって植樹が行われました。今回、最初の植樹から1年が経過したということで、一般の方が立ち入ることができない自動車専用道路区域内で樹木の生育調査及び除草作業を実施しました。残暑が厳しい中、皆さん汗を流しながら2時間にわたり作業を行いました。調査の結果、植樹時には30センチほどだった樹木が人の背丈以上に大きく生長したのもあり、順調に育っていることが確認できました。今後も、インターチェンジに森を育むための取り組みとして、毎年市民の皆さんに調査結果をお知らせし、地域に親しまれる道路づくりを目指していきたいと考えています。



【雑草に覆われ樹木の姿は見えません】



【樹木の生育調査のようす】



Before



After

## 「諫早のんのこウォーク」の開催に向けて実行委員会を結成

今年度諫早市では、諫早の新しい活力・魅力づくりを市民とともに企画、立案し、諫早の魅力を広くアピールする「**諫早ビタミンプロジェクト**」を実施しています。5月に事業企画やアイデアを市民から募集し、77件の応募があったそうです。7月には、審査会が開かれ6件の事業実施が決定しました。このうち、道守長崎会議 諫早地区世話人の中野勝利さんが提案したウォーキングイベントも採択され、先日、事業実施に向けて実行委員会が結成されました。

今回、中野さんが提案した事業は「**諫早のんのこウォーク**」というもので、諫早を流れる母なる川“本明川”を舞台に、本明川の風景や周辺に点在する史跡・歴史・文化を楽しみながら、上流に向かって歩くイベントです。実行委員会には、諫早まちづくりネットワーク協議会、本明川を語る会、オレンジハイキングクラブ、諫早市レクリエーション協会、健康ウォーク21、その他多くの市民の皆さんなど多種多様な方々が構成員となって参加し、諫早の魅力を多くの人に知って頂きたいという熱い想いで準備を進めています。「諫早のんのこウォーク」は3月の開催を予定しており、今後、コースの設定や広報などについて検討していきます。

## ★募集★ 大村マイ・ツリー清掃活動を実施します

大村市を走る国道34号沿いでは、「マイ・ツリー」活動を実施しています。「マイ・ツリー」活動とは、道路の街路樹を守り育てるために、自分の木を持ち、その木を大切に育てることで、花や緑の大切さと道路美化への理解を深める活動です。

平成21年3月に、国道34号大村拡幅事業の開通を記念し、道路沿いの植栽帯に桜の木を植樹しました。その後昨年10月、今年4月には会員の皆さんで集まり、マイ・ツリー周辺の清掃や草刈りを行い、美しい景観整備に努めています。

今年も暑い夏を乗り切った雑草が随分と育ち、大村市の美しい景観を損ねていますので、マイ・ツリー周辺の清掃・除草作業を実施します。興味のある方は是非ご参加下さい。



【「マイ・ツリー」植樹のようす】



【清掃活動には多くの方が参加】

**日 時：平成22年10月16日（土） 9：00～11：00（雨天中止）**

**集合場所：大村市役所 正面玄関**

お問い合わせ  
・  
情報送付先

【道守長崎会議広報担当】国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所 調査第二課 沼野・浦田  
住所：〒851-0121 長崎市宿町 316 番地 1  
TEL：095-839-9861 FAX：095-839-9648 E-mail：numano-t8910@qsr.mlit.go.jp